

Review of Studies on the Construction “(*shi*)*de*”

AOKI Moe

Keywords: “(*shi*)*de*” construction, focus, scope, assertion

Abstract

This paper explores the meaning and usage of the construction “(*shi*)*de*” (such as, *shi wo kai de deng*. ‘The situation is that I turn on the light.’). This paper comes to the following conclusions: (1) An expression of manner or an expression of cause can be used in the construction “(*shi*)*de*” as the focus. (2) Complements (Resultative Complements or Directional Complements) can be used in the construction “(*shi*)*de*”. (3) When *de* precedes the object in the construction “(*shi*)*de*”, the scope of assertion (scope of focus) becomes narrower. (4) The construction “(*shi*)*de*” is not an especially Northern usage.

“(是) ……的”構文の 幾つかの問題点について

要 旨

本稿は主として述語動詞の目的語の前に“的”が生起した“(是) ……的”構文について論じた。以下の四点を主張する。第一に、従来の見解に反し、「様態表現」や「原因表現」が“(是) ……的”構文の焦点対象となる例が多く存在するということである。第二に、これまで“(是) ……的”構文には結果補語や方向補語が生起しにくいと言われていたが、実際には多くの例を収集することができたということである。第三に、“的”が述語動詞の目的語の後に生起すると、出来事全体が「断定」され、“的”が述語動詞の目的語の前に生起すると、述語動詞そのものが表す動作行為に対してより集中的に「断定」が行われるということである。主張の第四は、述語動詞の目的語の前に“的”が生起した“(是) ……的”構文は北方方言特有であると見なされてきたが、多くの資料調査によると、当構文は北方作家以外の文学作品においても用いられているということである。

キーワード “(是) ……的” 構文 焦点 作用域 断定

“(是) ……的”構文の 幾つかの問題点について¹⁾

神奈川大学非常勤講師 青木 萌

0 はじめに

“(是) ……的”構文の研究は、これまで多くの研究者によって論じられてきたが、その中でも、以下の(1)-(4)のような、述語動詞の目的語の前に“的”が生起する“(是) ……的”構文(即ち朱德熙(1978)のS4に該当する“的”構文)は解釈が難しく、焦点(focus)、“是”と“的”の意味役割、“的”の生起位置の違い、あるいは当構文の形成や用法などを巡って、様々な議論が展開されてきた²⁾。

- (1) 是瓦特发明的蒸汽机 (朱德熙 1978: 106) [ワットが蒸気機関車を発明したのだ]
- (2) 是我开的灯 (同上) [私が灯りをつけたのだ]
- (3) 是昨天发的信 (朱德熙 1978: 107) [昨日手紙を送ったのだ]
- (4) 是用凉水洗的脸 (同上) [冷水で顔を洗ったのだ]

本稿では主としてこの類の“(是) ……的”構文について論じる。当構文は杉村(1994: 139)の指摘にもあるように、口語においてよく用いられる。また、筆者の調査に基づく、当構文の生起率は高くない。そのため、時として作例や北方作家の小説を中心とした用例収集では、当構文を

十分に論じることが容易ではないと思われる。同時に、現在多く利用されている CCL などのコーパスによる用例収集は、前後の文脈や強勢(stress)を的確に判断しにくい場合があるため、これもやはり最も適切な研究方法であるとは言い難い。そこで筆者は、テレビドラマによる用例収集に力を入れ、かつ、強勢が置かれる部分や、物語全体の展開や前後の文脈にも細心の注意を払った。更に、北方作家による文学作品を大量に調査すると同時に、北方以外の地域における作家の小説も大量に調査した。その結果、従来の研究には依然として幾つかの問題点が存在すると判断するに至った。まず次章では“(是) ……的”構文の焦点について述べる。

1 “(是) ……的”構文の焦点について

これまで「様態表現」や「原因表現」は“(是) ……的”構文の焦点対象になり難いと見なされてきた。その理由について、木村(2012: 263)は以下のように主張している。

「様態表現が典型的には形容詞成分から構成され、原因表現が典型的には述詞成分や節から構成されるということからも明らかなように、それらの表現はいずれも〈モノ = entity〉的でなく、むしろ〈コト = event〉的であり、したがって、離散性に乏しく、名詞表現のように対立項が想定しにくく、限定性を欠く。そのため、動作行為の区分基準には適さない。」

また、木村(2012: 263)は、

「動作区分の基準に適するのは、やはり〈人〉〈もの〉〈地点〉〈時点〉など離散的な対立を喚起しやすい表現——すなわち典型的には名詞表現——から構成される関与項である。」

と指摘している。そこで、上記の「典型的」ではない例を求めるべく、用例収集を大量に行った結果、以外にも「様態」や「原因」を表す成分が

“(是) ……的” 構文の焦点対象になる例を多く収集することができた。故に、本章では、初めに「様態表現」が“(是) ……的” 構文の焦点対象となる例を挙げ、その後、「原因表現」が“(是) ……的” 構文の焦点対象となる例を挙げる。

1.1 「様態表現」が“(是) ……的” 構文の焦点対象となる例

以下の (5)-(9) を見られたい。

1.1.1 “一口气”

- (5) 每天前来罚我的是二楼中班的一个马马虎虎的胖男孩。由于我父母是一口气生的我们哥儿俩，这胖孩子也就比我大一岁，阅历不多，智力体力发展也不平衡，遇到这种情况百思不得其解，想到的对策就是请我吃耳光。（王朔「看上去很美」，《王朔文集》：2 頁）[私の両親は一息で私たち兄弟二人を生んだのだ]

1.1.2 “抱着那个中年妇女”

- (6) A：怎么是亲密接触啊？ B：我四大爷不是抱着那个中年妇女上的出租车吗！（テレビドラマ『小房东』第7話）[あの中年女性を抱いてタクシーに乗ったのだ]

1.1.3 “抱着大少爷的牌位”

- (7) 干爹，您有所不知，我大嫂的事儿啊，在全高密大家都知道。她和单家大少爷刚定完亲，大少爷就死了。可我嫂子呢，她还是选择从一而终，她是抱着大少爷的牌位进的单家，进了家门就守寡，一直守到现在。（テレビドラマ『红高粱』第7話）[彼女は兄さんの位牌を抱えて単家に嫁いだのだ]

1.1.4 “当着你爷爷奶奶跟大姑的面儿”

- (8) A：我妈还真动手了？ B：不光是动手，而且是当着你爷爷奶奶跟大姑的面儿动手的！（テレビドラマ『30 岁，你好』第 12 話）[あなたのお爺ちゃんお婆ちゃんと叔母さんの前で手を出したのだ]

1.1.5 “风风火火”

- (9) A：她这是要置我于死地呀！ B：不对呀，是她让我过来接你的呀。
A：啊？ B：真的。她风风火火找的我，让我赶紧把你接出来，说她把这事儿给压下了，以后再也不能提了。（テレビドラマ『全家福』第 19 話）[彼女は慌ただしく私を訪ねたのだ]

引用先のテレビドラマである『全家福』によると、“她风风火火找的我”は“风风火火”の箇所**に強勢が置かれ、かつ、文脈的に見ても、“她”に焦点があるとは見なし難い**ので、この“风风火火”の部分**が焦点**であると解するのが妥当である。次節では「原因表現」が“(是)……的”構文の焦点対象となる例を列挙する。

1.2 「原因表現」が“(是)……的”構文の焦点対象となる例

「原因表現」が焦点対象となる“(是)……的”構文に関しては、青木（2015a：249-252）や楊凱榮（2015：10-11）、同（2016：34-36）においても論じられ、幾つかの例が挙げられているが、楊凱榮（2015：10-11）、同（2016：34-36）では、CCL による例示を多用し、また、主として“因为”を伴う「原因表現」の例を多く取り扱って論じているので、本稿では、実際の小説やテレビドラマから収集した例を多く用いて検証し、“因为”以外にも、“为（什么）”や“由”を伴う「原因表現」が焦点対象となる例が存在することも確認する。では以下の (10)-(17) の例を見られたい。

1.2.1 “因为我”

- (10) A：何岸，最近你需要操心的事情很多，不用每天到医院来。 B：夏总，没关系的。再怎么说元满也是因为我受的伤。我应该多在她身边照顾她。(テレビドラマ『把爱带回家 (TV 版)』第 65 話)
[元満は私が原因で怪我を負ったのだ]

1.2.2 “没钱了没钱吃饭了”

- (11) A：受不了啊？ 那你回家去。 B：回家？ 我现在回家，回头让人说，刘星是因为没钱了没钱吃饭了回家的。我这脸往哪儿放啊！ 多丢人呐！(テレビドラマ『家有儿女 (第三部)』第 43 話) [劉星はお金が無くなりご飯を食べるお金が無くなったが故家に帰ったのだ]

1.2.3 “因为她”

- (12) 原来就，就因为她离的婚啊！(テレビドラマ『约会专家』第 17 話) [彼女が原因で離婚したのだ]

以下の (13) の“是因为赶去给学生教课所以才闯的红灯”[学生への授業に間に合わせるために赤信号を横断したのだ]では、“因为”の後に“所以”が生起し、原因表現であることがより明瞭である。

1.2.4 “因为赶去给学生教课”

- (13) 我告诉你啊，你让我想起网上一段子来。说是有一交通警察抓着一闯红灯的女的。当时那女的特着急，跟交警说，是因为赶去给学生教课所以才闯的红灯。(テレビドラマ『家有儿女 (第一部)』第 53 話)

次は“为”が焦点対象の中に含まれている例を二つ挙げる。

1.2.5 “为这”

- (14) A：鬼子已经进山东了，你知道吗？ B：我知道。我就是为这回的东北乡。（テレビドラマ『红高粱』第42話）[私はそのことが原因で東北の里に帰ったのだ]

1.2.6 “为我”

- (15) 老石可是为我负的伤，你帮着给看看？（テレビドラマ『全家福』第3話）[石さんは私のせいで怪我をしたのだ]
今度は“为”の後に“什么”が後続する例を見られたい。

1.2.7 “为什么”

- (16) 他为什么当的这个治安委员呢？那不就是因为脾气问题吗！当了之后，好了一点，最后还发展他入了党。（テレビドラマ『安居』第10話）[彼はどうしてこの治安委員になったのだ]
以下の(17)は“由”が焦点対象の中に含まれている例である。

1.2.8 “由希特勒的一本《我的奋斗》”

- (17) 几年来的战争，都是由希特勒的一本《我的奋斗》闯的祸，这一本书害了多少人？（胡适『自由人生』：3頁）[数年来の戦争はいずれもヒトラーの『我が闘争』が引き起こしたのだ]

以上により、これまで「様態表現」や「原因表現」は“(是)……的”構文の焦点対象になり難いと言われてきたが、実際には、多くの反例が存在するということを、小説とテレビドラマから収集した実例に基づいて検証することができた。さて、次の第二章では“(是)……的”構文における補語について一つ問題点を提示したい。

2 “(是) ……的” 構文における補語について

杉村（1983：477）の記述によると、これまで、“的” が述語動詞の目的語の前に生起する“(是) ……的” 構文においては、述語動詞の直後に結果補語や方向補語が生起しにくい、と見なされていたことが分かるが、小説やテレビドラマなどを大量に調査すると、実際には、結果補語や方向補語が当構文の述語動詞の直後に生起する例は少なくないと判断できる。以下“进”、“出”、“来”、“过”、“出来”、“回来”、“到”、“翻”、“着”、“死”、“成”が述語動詞の直後に生起する例を順番に挙げて検証する。なお紙幅の関係によりそれぞれ一例ずつ挙げることにする。

2.1 “进”

- (18) 她的大姐是花了凌信诚的金钱才住进的医院，不仅打针吃药做各种治疗，都有公司的支票垫底，而且，大姐在医院里的一日三餐，日常花销，也都是往公司的支票上填的。（海岩『平淡生活』：150 頁）
[彼女の姉さんは凌信誠のお金を使って病院に入院したのだ]

2.2 “出”

- (19) 念人，你为什么就不能研究一下三民主义呢？ 我就是比较了三民主义和共产主义之后才做出的选择。（テレビドラマ『范府大院（全41 話版）』第31 話）[僕は三民主義と共產主義を比較してから選択をしたのだ]

2.3 “来”

- (20) 竹蜻蜓，纸飞机，钻石糖，这么多！ 你都从哪儿搞来的这些啊？

(テレビドラマ『约会专家』第18話) [あなたはどこからこれらを
手に入れてきたのだ]

2.4 “过”

- (21) 至今我也不知道怎么在那样窄的窗台上转过的身。(王朔「看上去
很美」,『王朔文集』:30頁) [どうやってあんなに狭い窓のところ
で身体を翻したのだ]

2.5 “出来”

- (22) A:你说的这是白小还是阿Q啊? B:你没发现白小性格跟阿Q有
点儿像吗? A:这倒也是。我估摸鲁迅先生就是照着白小才写出来
的阿Q!(テレビドラマ『小房东』第70話) [魯迅先生は白小を
照らしながら《阿Q正伝》を書き上げたのだ]

2.6 “回来”

- (23) 孩子们呀, 爷爷我今天起了一个大早到很远很远的郊区去挖回来的
野菜。(テレビドラマ『家有儿女(第一部)』第67話) [お爺ちゃ
んは今日早起きをして、とても遠い郊外へ行って山菜を掘って来
たのだ]

2.7 “到”

- (24) 对不起啊宝贝儿, 你老公我也真是身不由己, 我也是突然间接到的
任务。领导安排的。(テレビドラマ『当婆婆遇上妈』第8話) [僕
も突然任務を引き受けたのだ]

2.8 “翻”

(25) A：我考考你。落水之前发生什么？ B：落水之前你们在赛船。

A：那我再问你。是谁掀翻的船？（テレビドラマ『如果蜗牛有爱情』第1話）[誰が船をひっくり返したのだ]

2.9 “着”

(26) 我跟你爸一结婚好些同学都跟我联系不上了。不知道她哪儿找着的电话。（テレビドラマ『家有儿女（第一部）』第69話）[彼女はどこでこの電話を見つけたのだ]

2.10 “死”

(27) A：你为何要走？ B：只是惹不起那西门庆。 A：有我在，你不必怕！ B：是他们害死的武大叔！（テレビドラマ『水浒传』第19話）[彼らが武大さんを殺したのだ]

2.11 “成”

(28) 不好意思，是因为求知欲强加上刨根问底儿，我先生啊，他就是这样的不停一路问为什么修成的博士。（テレビドラマ『家有儿女（第三部）』第21話）[彼は正にこのようにして止まることなく「どうして」と質問し続けて博士の学位を修めたのだ]

以上の例により、実際には、結果補語や方向補語も“(是) ……的”構文の述語動詞の直後に生起しえることが判然とした。次の章では“(是) ……的”における“的”の生起位置について考えてみよう。

3 “(是) ……的” 構文における “的” の生起位置について

3.1 従来の研究について

“(是) ……的” 構文中の “的” の生起位置に関しては、朱德熙 (1978) が「主語後置」説を提示したのを発端にするようにして、宋玉柱 (1981) の「テンス助詞」説、史有为 (1992a)、同 (1992b) の「目的語追加補充」説、杉村 (1999) の「先 le 后 de」説、小野 (2008) の「モノ化機能」説、木村 (2012) の「動作区分機能」説などが生まれ、多くの研究者により様々な視点から濃密な議論が展開されてきた³⁾。中でも杉村 (1999) と木村 (2012) は従来の様々な分析を的確に論難しており、極めて注目に値する。

しかし、本稿の第一章と第二章ですでに述べたように、両者がこれまで著した論文に対して、反例を挙げることができるため、両者の論考は“(是) ……的” 構文を十分に解釈し、その妥当性が極めて高いとは断定し難い。しかも、以下で述べるように、本章の議論と密接に関係する見解についても、疑問に感じる点が幾つか存在する。

例えば、杉村 (1999: 54) は、“的” が述語動詞の目的語の前に生起した場合 (即ち “V + 的 + O”) と、“的” が述語動詞の目的語の後に生起した場合 (即ち “V + O + 的”) について、基本的には前者は「已然／個別」、後者は「恒久／一般」と解釈している。そして木村 (2012: 241) もこの杉村 (1999: 54) の主張を基に“(是) ……的” 構文を区分し、論を展開させているということが看取しえる。だが実際には以下のような例がある。

(29) 你别忘了，咱俩每次下饭馆儿都是我花的钱吧。(テレビドラマ『全家福』第 29 話)

(30) A: 你确定是按照我给的剂量吃吗? B: 对啊，当然了。……我也

不太清楚，这段时间我工作比较忙，都是孩子自己吃的药。（テレビドラマ『我爱男保姆』第 16 話）

- (31) A：方原，原来你以前过的这么惨啊。 B：你还嫌我惨啊。 A：那就是你之前穿的衣服还有给我买的玩具都是我妈花的钱了？（テレビドラマ『我爱男保姆』第 12 話）

(29) の“咱俩每次下饭馆儿都是我花的钱”[俺たちは毎回お店で食事をするといつも俺がお金を払っているのだ]は“每次”と“都”が、(30) の“这段时间我工作比较忙，都是孩子自己吃的药”[ここ最近私は仕事が忙しく、子供は自分で薬を飲んだのだ]は“这段时间”と“都”が、(31) の“你之前穿的衣服还有给我买的玩具都是我妈花的钱”[あなたが前に着ていた服や僕に買ってくれたおもちゃは全部僕のお母さんがお金を支払ったのだ]は“之前”と“都”が生起し、これら（“每次……都”、“这段时间……都”、“之前……都”）はいずれも出来事が複数生じていることを保証しているため、「已然／個別」や「恒久／一般」という概念を用いた解釈はやや厳密さに欠けていると言える。また、

- (32) 幽昙不是我害死的，请你们相信我，我不会害死幽昙的！（テレビドラマ『春暖花会开』第 23 話）

の“幽昙不是我害死的”[幽曇は僕が殺害したのではない]と、その後の“我不会害死幽昙的”[僕は幽曇を殺害するはずがない]は、いずれも「已然」で、かつ「個別」的な出来事を取り扱っていると見なしえる。これは引用先のテレビドラマを見るとより判然とする。故に、「已然／個別」と「恒久／一般」といったような区分は、やはり必ずしも妥当であるとは言い難い。

また、本稿の第一章で述べたように、木村（2012：263）によると、「様態表現」や「原因表現」は“(是) ……的”構文の焦点対象になり難いということが分かるが、木村（2012：263）がこのような見解を有したのは、

木村（2012）が主張する「動作区分機能」説の妥当性を高めるためであると看取しえる。しかし、第一章で見たように、実際には多くの反例がある。また、木村（2012）にはこれ以外に、もう一つやや疑問を感じさせる記述が存在する。即ち、当構文における“的”について、木村（2012：257）は

「de は、アスペクト接辞の“了，着”よりも、むしろ“得”に近い性格の動詞接辞として位置づけられるのが妥当であると考えられる」と述べている。また、杉村（1999）も“(是) ……的”構文の“的”と、状態補語の“得”との類似点を指摘しながら論じている。ところが、朱德熙（1978：109）では、

(33) 我给（他）的零钱（是我给他的零钱）[私が（彼に）お小遣いをあげたのだ]

という例がある。この（33）の例は、朱德熙（1978）の S4 の“(是) ……的”構文に属し、本稿の考察対象である。朱德熙（1978：109）によると、(33) の例で指摘したいのは、“我给的零钱”は、“他”を生起させて“我给他的零钱”となり、これを“是我给他的零钱”の意として解釈することができるため、当構文の“的”を動詞接尾辞と見なすのは妥当ではない、ということである。そして、朱德熙（1978：107）には更に、

(34) 是学校借给他的旅费 [学校が彼に旅費を貸してあげたのだ]

(35) 是你传染给我的感冒 [あなたが私に風邪をうつしたのだ]

といった例が挙げられている。これらの“的”も述語動詞の直後に生起していない。朱德熙（1978：107）は、この（34）（35）も（33）と同様に、本稿の考察対象である S4 の“(是) ……的”構文と見なしている。それ故、当構文の“的”を動詞接尾辞と考えるのはやはり困難であると言える。

このように、従来の“(是) ……的”構文に関する研究は、やはり依然として再考する余地が幾つか残っていると思われる。では“(是) ……的”

構文における“的”は、なぜ、時として述語動詞の目的語の前に生起し、時として述語動詞の目的語の後に生起するのだろうか。本稿では袁毓林(2012)の見解を更に発展させると、より妥当な解釈が可能であると考ええる。そこで次節を見られたい。

3.2 袁毓林(2012)の記述と用例

初めに以下の袁毓林(2012: 296)の記述を引用する。

「“的”字的前移起到了缩小焦点范围(focus scope)的作用」[“的”の前移は焦点の作用域を縮める役割を果たす]

次に袁毓林(2012: 291)の例を挙げる。

(36) 是我昨天碰到小王的。[私が昨日王さんに出くわしたのだ]

(37) 是我昨天碰到的小王。[同上]

以上の袁毓林(2012)の記述と用例により、“(是) ……的”構文における“的”が述語動詞の目的語の前に生起しているのは、その目的語が焦点の作用域から外れ、焦点の作用域が狭まっている、と理解できる。要するに、(36)では“我昨天碰到小王”の部分が焦点の作用域であり、“小王”は焦点の作用域に含まれているが、(37)では、“我昨天碰到”の部分だけが焦点の作用域であり、“小王”は焦点の作用域から外れ、焦点の作用域が狭まっていると解しえる。

そこで、本研究で考察する用例は、袁毓林(2012)よりも厳密に、“是”と“的”の間に生起する成分を「断定作用域」と称し、この「断定作用域」の中に焦点があると見なすことにしたい⁴⁾。例えば、

(38) A: 我说, 以后别当着人家面跟我这么说话好不好? 你多少给我留点儿面子。 B: 当年刘慧芸把咱俩堵在画室的时候, 你也是要面子才跟她离的婚吧! (テレビドラマ『我爱男闺蜜』第12話)

における“是要面子才跟她离的婚”[面子が原因で彼女と離婚したのだ]

では、述語動詞“离”の目的語の“婚”が「断定作用域」から外れ、“要面子才跟她离”の部分が「断定作用域」である。そして、この文の焦点は、文脈的に見ても、また“要面子”の部分に強勢が置かれる点から見ても、この“要面子”の部分が焦点であると見なすのが妥当である。なお、“是”が生起しない場合は、話題（topic）となる主語から“的”の間までの成分、あるいは、強勢が置かれる成分から“的”までの間の成分が「断定作用域」であると見なす。

以上から、“(是) ……的”構文における“的”が述語動詞の目的語の前に生起しているのは、目的語が「断定作用域」から外れ、「断定作用域」が狭まっていると解釈できることが分かった。次はこれについて実例を挙げながら詳述する。

3.3 実例による検証

以下の(39)–(44)における例を見られたい。

3.3.1 “是她提出离婚的”と“是她提出的离婚”

(39) 是她提出离婚的又怎么样？ 不是她提出的离婚又怎么样？（张洁『无字（第一部）』：45 頁）

“是她提出离婚的”[彼女が離婚を提案したのだ]は“她提出离婚”の部分が「断定作用域」だが、その後続く“是她提出的离婚”[彼女が離婚を提案したのだ]は“离婚”が「断定作用域」から外れ、“她提出”の部分が「断定作用域」となっていると理解できる。

3.3.2 “是你先动手的”と“是我先动手的”

(40) 她说：“我不是向你道歉了吗？”又说，“是你先动手的。”（海岩『玉观音』：38 頁）

“是你先动手的”[あなたが先に手を出したのだ]は“你先动手”の部分が「断定作用域」だが、引用先の『玉观音』に基づくと、この十三行後には、

(41) 我说：“是我先动手的，这是应该我出的钱。我还得赔你的衣服呢。”
(海岩『玉观音』：38 頁)

という表現があり、この“是我先动手的”[私が先に手を出したのだ]における“手”は「断定作用域」から外れ、“我先动”の部分が「断定作用域」となっていると見なしえる。

3.3.3 “我是睡客厅的”と“我真睡的客厅”

(42) A：她昨天晚上就住这儿了，但是我，我是睡客厅的，我在沙发上睡了一宿，我向你发誓。 B：我说怎么一早上打电话听见她的声音了。老公。最后是谁老公还不一定呢。 A：这还有什么说的呢。别生气了，我真睡的客厅。（テレビドラマ『老公的春天』第14話）

“我是睡客厅的”[私は客間で寝たのだ]は、“睡客厅”の部分が「断定作用域」だが、その後の“我真睡的客厅”[私は本当に客間で寝たのだ]は、“客厅”が「断定作用域」から外れ、“真睡”の部分が「断定作用域」となっていると解しえる。

3.3.4 “是谁给你权利进我家的”と“你怎么进的我家”

(43) A：喂？ B：是谁给你权利进我家的？ 还把我所有泡面都扔了！
A：给你买的苹果你吃了吗？ B：你别给我打岔啊，我是问你，你怎么进的我家？ 你偷窥狂啊你！（テレビドラマ『我的经济适用男』第15話）

“是谁给你权利进我家的”[誰があなたに私の家へ入る権利を与えたのだ]では、“谁给你权利进我家”の部分が「断定作用域」である。だが、

その後の“你怎么进的我家”[あなたはどうやって私の家へ入ったのだ]では、“我家”が「断定作用域」から外れ、“怎么进”の部分が「断定作用域」となっていると考えることができる。

3.3.5 “你怎么到我家来的”と“你怎么进的我家门”

(44) A：回来了！ 香不香？ 还有一个菜，等一下啊。 B：元满，你怎么到我家来的？ 你怎么进的我家门啊？（テレビドラマ『把爱带回家（TV版）』第45話）

“你怎么到我家来的”[あなたは どうして私の家に来たのだ]においては、“怎么到我家来”の部分が「断定作用域」であると見なしえるが、その後の“你怎么进的我家门”[あなたは どうやって私の家に入ったのだ]では、“我家门”が「断定作用域」から外れ、“怎么进”の部分が「断定作用域」であると判断できる。

以上の実例により、“(是)……的”構文の“的”が述語動詞の目的語の前に生起しているのは、目的語が「断定作用域」から外れ、「断定作用域」が狭まっているということがより明白となった。だがここで一つの疑問が浮かぶ。それは即ち、この現象は具体的に何を意味するのだろうか、ということである。袁毓林（2012）では実例による検証が十分に行われてはならず、明確な答えが出ているとは見なし難い。故に、これについて次節の(45)–(49)で実例を挙げながら詳述したい。

3.4 「断定作用域」が狭まる現象について

(45) A：他们也太过分了！ 何岸，你胆子也太大了！ B：阿姨，都说不是何安了，是夏以沫勾引的他！（テレビドラマ『把爱带回家（TV版）』第45話）

(45)の“是夏以沫勾引的他”[夏以沫が彼を誘惑したのだ]では、“他”

が「断定作用域」から外れ、“夏以沫勾引”の部分だけが「断定作用域」となっている。なぜなら、引用先のテレビドラマによると、話し手Bは“夏以沫”をひどく恨んでいるため、“勾引”という行為の対象である“他”を「断定作用域」から外し、下劣な“勾引”という行為自体をより集中的に「断定」したと理解できる。

次は(46)の“是先有的鸡，还是先有的蛋”[先に鶏ができたの、それとも、先に卵ができたの]について考えてみよう。

(46) A：这个问题已经困扰了我十几年了，你必须给我解答解答，否则还会继续困扰我十几年的。 B：没问题，一般问题我都会解答，说吧。 A：您说，是先有的鸡，还是先有的蛋呢？（テレビドラマ『家有儿女（第二部）』第55話）

“是先有的鸡”[先に鶏ができたのだ]においては、“鸡”が「断定作用域」から外れ、“先有”の部分だけが「断定作用域」である。そして、“是先有的蛋”[先に卵ができたのだ]においては、“蛋”が「断定作用域」から外れ、“先有”の部分だけが「断定作用域」である。というのは、この話し手のセリフである“是先有的鸡，还是先有的蛋”は、「どちらが先にできたか」という点について知りたくて已まないが故に聞いた質問であるため、わざわざ純粹に「先に鶏ができた」、「先に卵ができた」といった出来事の全体を「断定」せず、「できた」という部分、即ち“有”に対してより集中的に「断定」するのが妥当であると判断しえるからである。

次の例では“是我雇的你”[私があなたを雇ったのだ]の箇所が問題となる。

(47) A：什么叫不是什么大事儿啊？ 你说了算吗？ 你差点儿毁了我！
B：没那么严重吧！ A：你说不严重就不严重啊？ 是我雇的你！
（テレビドラマ『我爱男保姆』第6話）

この例では“我雇”が「断定作用域」である。引用先のテレビドラマに

よると、この場面は、話し手 A が、仕事を委託している話し手 B に対して憤慨している。なぜなら、話し手 B は仕事で過ちを犯したが、それを素直に認めなかったからである。そのため、雇い主の話し手 A は、“你”を「断定作用域」から外して、“雇”という行為自体をより集中的に「断定」し、話し手 A と話し手 B の身分の違いを明示させ、話し手 B に服従するよう勧告したと考えることができる。

今度は以下の (48) の例について考えてみよう。

- (48) A：你为什么一直说你女儿十二岁啊？ B：因为她在我心里边就是十二岁。也许我不希望她长大。也许我怕自己太老。知道吗，我二十二岁跟亚亚妈妈结婚的。结婚的当年亚亚妈妈就怀孕了。当时她二十岁。我还没准备好就当爹了。（テレビドラマ『爱的多米诺』第 16 話）

“我二十二岁跟亚亚妈妈结婚的”[俺は二十二歳の時に亜亜のお母さんと結婚したのだ]の“的”は、述語動詞の目的語の後、つまり文末に生起している。何故だろうか。以下妥当だと思われる見解を述べよう。即ちこの例は、自分の過去の出来事を淡々と語っている際に用いられたものであるため、わざわざ“的”を述語動詞“结”の目的語である“婚”の前に置き、この“婚”を「断定作用域」から外し、“结”という行為自体をより集中的に「断定」するよりも、“的”を文末に置き、“二十二岁跟亚亚妈妈结婚”という出来事全体を「断定」した方が自然であると考えられるからである。

以上の考察により、これまで論争が絶えなかった“(是)……的”構文における“的”の生起位置について、次のような合理的な解釈が可能となる。それは即ち、“的”が述語動詞の目的語の後に生起すると、出来事全体が「断定」され、“的”が述語動詞の目的語の前に生起すると、述語動詞の目的語が「断定」の対象から外れ、「断定作用域」が狭まり、述語動

詞が表す動作行為がより集中的に「断定」されるということである。

そして、このようにして、述語動詞が表す動作行為がより集中的に「断定」されると、より迫真に迫った表現が可能になると言える。当構文が口語において多く用いられる大きな要因は、この点から求められると推測しえる。

また、出来事全体を「断定」した場合、必然的にその出来事に関する動作行為も「断定」されることになる。それ故、“的”は、時として、述語動詞の目的語の前と、述語動詞の目的語の後の両方に位置することが可能になると考えられる。

なお、以下のような珍しい例もある。

(49) A：你说什么，你们搬出去住？ 这是苏劲的主意吧？ B：不不不，不是。她还不知道事儿呢。我就突然有这么一个小想法。 A：她不知道？ 肯定是她怂恿的你这么说的。（テレビドラマ『大都市小爱情』第17話）[きっと彼女があなたにこのように言えと唆したんだわ]

“肯定是她怂恿的你这么说的”では“的”が二つ生起している。一つは文末に生起し、いま一つは述語動詞の“怂恿”の後に生起している。そこで次のように解釈する。まず、“肯定”と文末の“的”の間の“是她怂恿的你这么说”が「断定作用域」であると理解する。要するに、強勢が置かれてこの文の焦点となる“肯定”と文末の“的”の間にある“是她怂恿的你这么说”全体が「断定」されるのである。そして次に、述語動詞“怂恿”の後に“的”が生起しているので、“是她怂恿的”における“是”と“的”の間の“她怂恿”が「断定作用域」であると見なし、これによって、“怂恿”という行為がより集中的に「断定」されると理解する。というのも、これは姑が、息子の嫁について話している時に発したセリフであり、姑は嫁をあまり気に言っていない。故に、“的”をこのように二つ用いて、

極めてはっきりと「断定」したのである。姑の嫁に対する嫌悪感を容易に察することができると言えよう。次章では“(是) ……的”構文の形成について討論したい。

4 “(是) ……的”構文の形成について

前章で言及した杉村(1999)の「先 le 后 de」説は“(是) ……的”構文の研究の中で特筆に値し、その後の小野(2008)、木村(2012)、袁毓林(2012)、张和友(2012)などの見解に大きな影響を与えていることが看取できる⁵⁾。この杉村(1999)の「先 le 后 de」説は、簡潔に述べると、“(是) ……的”構文における「Vde (O)」を「承前形式(anaphoric form)」と見なすものである。

本稿では、前述の「断定作用域」と時相(phase)の概念を用いると、“(是) ……的”構文が如何にして形成されるかを、より厳密かつ的確に解しえんと考える⁶⁾。つまり、“(是) ……的”構文は、時相が充足したひと纏まりの出来事(event)を“的”で「断定」することによって形成されると主張する。例えば本稿の(8)で挙げた“是当着你爷爷奶奶跟大姑的面儿动手”[あなたのお爺ちゃんお婆ちゃんと叔母さんの前で手を出したのだ]を用いて説明すると次のように解釈できる。まず、この文における持続動詞の“动”は、文脈的に見ると、既に行われた行為であるため、理論上、“动”に内在する「持続性」は「終息」し、“动”の動作量が定まると見なす。これにより、この文の時相が充足され、ひと纏まりの出来事(“当着你爷爷奶奶跟大姑的面儿动手”)が成立する。そして、この時相が充足した出来事に“的”を用いることで、「断定」の意が生じるのである。なお、ここでは“是”が生起しているので、“是”と“的”の間にある“当着你爷爷奶奶跟大姑的面儿动”が「断定作用域」であることが明白だ

が、動詞“动”の目的語である“手”は“的”の後に生起しているので、“手”は「断定作用域」から外れ、“动”という行為自体をより集中的に「断定」していると理解する。

また、本稿の(27)で用いた“是他们害死的武大叔”[彼らが武大さんを殺したのだ]という例について考えてみると、ここでの持続動詞の“害”には結果補語の“死”が後続しているので、“害”に内在する「持続性」は「終息」し、“害”の動作量が定まる。よって、この文の時相が充足して、ひと纏まりの出来事(“他们害死武大叔”)が成立し、“的”による「断定」が行われたと分析しえる。そして、ここでは“是”が生起しているので、“是”と“的”の間の“他们害死”が「断定作用域」であることが明白だが、動詞“害”の目的語の“武大叔”は“的”の後に生起しているため、“武大叔”は「断定作用域」から外れ、“害”という行為自体をより集中的に「断定」していると解しえる。

では、以下のような“(是) ……的”構文は如何に解釈すべきだろうか。

(50) 英东, 我是爱你的。但我更爱他的权势。对不起。(テレビドラマ『锦绣缘华丽冒险(湖南卫视 TV 版)』第2話)[私はあなたを愛しているのだ]

“我是爱你的”においては、持続動詞の“爱”が理論上「終息」せず、無限に「持続」することで、この“爱”の動作量が定まり、時相が充足することになる。そして、これによって、ひと纏まりの出来事(“我爱你”)が成立し、“的”による「断定」が可能になったと解しえる。また、“我是爱你的”の「断定作用域」は“是”と“的”の間の“爱你”である。

なお、周知の如く、“会”は時として“的”と共に起すが、これも上述の「断定作用域」と時相の概念に当てはめて考えると妥当な解釈が得られる。例えば、

(51) A: 那孩子的妈妈你怎么打算? B: 我只要孩子。至于女人, 我有

你就够了。 A：那这个女人岂不是很可怜？ 你以后会不会对我和我们的孩子也这样？ B：当然不会。我是不会跟你结婚生小孩儿的。（テレビドラマ『恋恋不忘』第1話）[私はあなたと結婚して子供を産むはずがない]

では、“是”と“的”の間にある“不会跟你结婚生小孩儿”が「断定作用域」となり、ここが「断定」される。つまり、この文は、“不会”の生起により、“我跟你结婚生小孩儿”という出来事の成立が「不可能」であることが保証されるので、動詞“生”の動作量が定まり、時相が充足されて、ひと纏まりの出来事が成立し、“的”による「断定」が行われたと考えることができる。

本稿のこれまでの論考を見ても分かるように、従来の多くの研究者は、予め“(是)……的”構文を複数のタイプに分け、“的”が述語動詞の目的語の前に生起する例と、“的”が述語動詞の目的語の後に生起する例の違いについて、十分な説明を行わず、また、いずれかの例を考察の対象外とすることも少なくなかった。だが、本稿の分析に基づく、そのような区分をせずに、“的”が述語動詞の目的語の前に生起しても、あるいは述語動詞の目的語の後に生起しても、合理的な解釈が可能となる。

また、本稿の分析を踏まえると、朱德熙（1961）がなぜ“(是)……的”構文における“的”や、“会”と共起する“的”を語気助詞ではなく、名詞性接尾辞（即ち朱德熙（1961）の“的3”）に分類したのかが理解しやすくなる。张和友（2012：155）も上の朱德熙（1961）の見解を支持するように、

「“的”在词组层面是一个助词，但在句子层面成为跟“是”配合表达说话者主观断定的功能算子」[“的”はフレーズのレベルでは助詞だが、文のレベルでは“是”と共起して、断定の意を表す演算子となる]

と指摘しており、更に、张和友（2012：159）は

「“我会写的” 作为一个词组并不表达说话者的主观断定，“的” 字作为结构性标记；而到了句子层面，“的” 便成为一个预设化的标记，表达说话者的主观断定，其语气性也就显露出来」[“我会写的” [私は書くだらう] は、フレーズとしては、断定の意を表わさず、“的” は構造助詞的な標識である。だが、文のレベルに到ると、“的” は前提化の標識となって、断定の意を表わし、語氣的な性質も生じるのである]

と主張し、“(是) ……的” 構文における“的” と、“会” と共起する“的” を共に構造助詞として捉えようとしているのが看取できる。本稿もこれらの主張を支持したい。さて、最終章では“(是) ……的” 構文の用法について論じる。

5 “(是) ……的” 構文の用法について

5.1 “(是) ……的” 構文は北方特有の用法か

Chao (2011 (1968) : 315) の記述に基づくと、“我是昨儿去看的戏” [私は昨日劇を見に行っただ] といったように、“的” が述語動詞の目的語の前に生起した“(是) ……的” 構文は北方方言特有であると理解しえる。ところが、张和友 (2012 : 152) は、当構文は、北方語に限らず、南方方言においてもこのような言い方があると述べている。だが、张和友 (2012 : 152) では、共時的な観点からの実例は挙がっていない。そこで、筆者が上海出身の张爱玲の小説を幾つか調べてみると、以外にも次のような“(是) ……的” 構文を発見することができた。

(52) 段小姐也是不久才过的生日么？ 绫卿含笑点点头。米兰代答道：
“她也是二十岁生日。” (「心经」, 『张爱玲全集 01』 : 120 頁)

(53) 从前我的一切，都是爹妈做的主。现在你……你替我做主罢!! 你说怎样就怎样。 (「茉莉香片」, 『张爱玲全集 01』 : 102 頁)

- (54) 他是正途出身，出洋得了学位，并在工厂实习过，非但是真才实学，而且是半工半读赤手空拳打下来的天下。他在一家老牌子的外商染织公司做到很高的位置。（「红玫瑰与白玫瑰」，『张爱玲全集 02』：51 頁）

(52) の“段小姐也是不久才过的生日”[段お嬢さんも最近誕生日を迎えたのだ]、(53) の“从前我的一切，都是爹妈做的主”[これまでの一切はみな父と母が切り盛りをしたのだ]、(54) の“是半工半读赤手空拳打下来的天下”[働きながら勉強をし、素手で天下を打ち取ったのだ] は、いずれも“的”が述語動詞の目的語の前に生起した“(是) ……的”構文である。故に、当構文は主として北方で多く用いられるが、それ以外の地域においても少なからず用いられるのではないか、という推測が働かざるを得ない。本章では、当構文が、上述の张爱玲の作品に止まらず、他の作家（安妮宝贝（浙江省）、独木舟（湖南省）、林静宜（福建省）、落落（上海市）、茅盾（浙江省）、王旭烽（浙江省）、余秋雨（浙江省））の文学作品においても用いられていることを確認する⁷⁾。当然の如く、この問題は、作家の出身地以外に、作家の生活環境や家族構成などの影響とも関係する可能性があるが、実例による例示は注目すべき証拠の一つと見なすことができる。では、以下順番に例を挙げよう。

5.2 実例による検証

5.2.1 安妮宝贝

- (55) 她背着自己的包，挤到一个卖 VCD 的店铺里打公用电话。是枫接的电话。（「告别薇安」，『安妮宝贝作品 2000-2013』：156 頁）[楓が電話に出たのだ]
- (56) 他在公司的高级主管会议间隙读到的句子。他那时的生活由报表、会议、公差、飞机头等舱和高级酒店的套房组成。（「莲花」，『安妮

宝贝作品 2000-2013』：114 頁）[彼は会社の高級主管会議の間に文を読んだのだ]

5.2.2 独木舟

- (57) 我有点小小的惊讶：“你干吗跟我说这些？”比我小了三四岁的她露出甜甜的笑：“有一次我早上忘了带钱包，是你帮我付的早餐钱，我心里一直记得。”（『一粒红尘』：66 頁）[あなたが私に朝食代の支払いを援助したのだ]
- (58) “那你这么年轻就自己买房子了……” 她明白我的意思，很直接地回答了我的问题：“我自己赚的钱。”（『一粒红尘』：74 頁）[私自身でお金を稼いだのだ]

5.2.3 林静宜

- (59) 夏寻的爸爸不喜欢夏寻的妈妈，当初就是凑合着结婚的，当夏寻四岁的时候，他的爸爸终于再也忍受不了这种没有感情的枯燥生活了。有一天，教完夏寻用毛笔写“自强不息”四个字后，就一去永不返了。（『逆时钟』：69 頁）[妥協して結婚したのだ]
- (60) 假期的第三天，夏母的病持续恶化，夏寻想再多请几天假，便打了长途电话给李台长，是台长的秘书接的电话，他说台长不在，要不就把病历传真一份，到时候再跟夏寻联系。（『逆时钟』：89 頁）[台長の秘書が電話をうけたのだ]

5.2.4 落落

- (61) 这两个人结婚刚满三十年，当然不是没有吵架，有时候爆发严重的争执，持续一两天的冷战也不罕见，他们和许多普通的夫妇一样，依然会遭遇许多不能顺从和妥协的事情—好比“今天是我洗的碗，

所以该由你去晾衣服啊”（『剩者为王』：162 頁）[今日は私が食器を洗ったのだ]

- (62) 她又匆匆忙忙起身走去阳台，回来时抱了七七八八好几件，一样样摆在旁边的桌子上，“还有两个但不知道放哪去了……啊，这些都是居委会那转交来的，都不知道那些好心人怎么打听到的地址。”（『千秋』：15 頁）[あの善良なる人はどのようにして住所を聞き出したのだ]

5.2.5 矛盾

- (63) “她们说些什么呀？她们说要‘打倒屠夜壶！’薛宝珠和周二姐说些什么呀？她们说‘都是夜壶搞的鬼！’，许许多多好听的话，我也背不全！——长林，你也不要笑。‘打倒’，你也是有份的！”（『子夜（第三版）』：274-274 頁）[夜壺が悪戯をやらかしたのだ]
- (64) 我是刚刚和你打过电话后就接了黄奋的电话，他也是刚得的消息；大概汉口特务员打来的密电是这么说，十成里有九成靠得住！（『子夜（第三版）』：225 頁）[彼も先ほど情報を得たのだ]
- (65) 三折肱成良医！从什么地方吃的亏，还是到什么地方去翻本呀！（『子夜（第三版）』：164 頁）[どこから損を喰らったのだ]

5.2.6 王旭烽

- (66) 赫明一开始倒也没太在意，可是有一天他下班回去接鼎鼎的时候，老师说鼎鼎已经被他阿姨接走了，鼎鼎跟她熟得很，老师也就放心了。赫明心里一沉，明白是谁来接的鼎鼎，回到家一看，厨房里已经热火朝天，色香味俱全了。（『曲院风荷』：22 頁）[誰が鼎鼎を迎えに来たのだ]

5.2.7 余秋雨

(67) 不知是哪个年轻女人开的头，朝着岑乙抬手说声“请吧”，其他两个女人也做出了同样的手势，发出了同样的声音。（『空岛』：127 頁）
[どの若い女性が先導をきったのだ]

(68) 何求在完婚后才寄的喜帖。他知道，妹妹小丝还没有原谅他，姐夫岑乙也不会单独到扬州参加婚礼，因此不在事先寄送。（『空岛』：198 頁）[何求は結婚後に結婚の便りを送ったのだ]

以上により、“的” が述語動詞の目的語の前に生起した“(是) ……的” 構文は、北方以外の作家の文学作品においても用いられているということが判然とした。

注

- 1) 本稿の第一章は 2015 年に東京大学で行われた「日本中国語学会第 65 回全国大会」で口頭発表した「“(是) ……的” 構文の焦点対象について」をもとに、加筆と修正を加えたものであり、第三章は 2016 年に立命館アジア太平洋大学で行われた「日本中国語学会第 66 回全国大会」で口頭発表した「“(是) ……的” 構文における述語動詞の目的語について」をもとに、加筆と修正を加えたものである。
- 2) 本稿における傍線、および、中国語の例文に対する日本語訳はすべて筆者による。例文に対する日本語訳は考察の便宜を図り、“(是) ……的” 構文の考察と密接に関係すると判断した箇所には傍線を引いて訳すことにする。また、例文において、話し手が複数いる場合は、A と B を用いて区別する。
- 3) ここでの諸家の論考は、最後に発表されたもの（例えば小野氏は小野（2008）以前に小野（2001）がある）をその研究者の“(是) ……的” 構文に対する最終的な見解と判断して列挙した。
- 4) 「断定」という表現は張和友（2012）を参考にした。
- 5) 本稿の注の 3）を見られたい。
- 6) 時相については陳平（1988）、龔千炎（1995）を参照されたい。また、時相の概念を用いての論理的な意味分析は青木（2014）を見られたい。
- 7) 列挙順は作家の姓のピンインに基づいており、括弧は作家の出身地である。

参考文献

- 青木萌 2014.「現代中国語における時相構造の「量化」現象」,『人文研究（第183集）』。神奈川大学人文学会。
- 青木萌 2015a.「“(是)……的”構文の焦点対象について」,『日本中国語学会第65回全国大会予稿集』。好文出版。
- 青木萌 2015b.「朱德熙(1978)のS4“的”構文について」,『人文研究（第187集）』。神奈川大学人文学会。
- 青木萌 2016.「“(是)……的”構文における述語動詞の目的語について」,『日本中国語学会第66回全国大会予稿集』。好文出版。
- 小野秀樹 2001.「“的”の「モノ化」機能—『照応』と“是…的”文をめぐる—事物限定から動作限定へ」,『現代中国語研究（第3期）』。京都：朋友書店。
- 小野秀樹 2008.「“的”のモノ化機能」,『統辞論における中国語名詞句の意味と機能』。東京：白帝社。
- 木村英樹 2002.「“的”の機能拡張—事物限定から動作限定へ」,『現代中国語研究（第4期）』。京都：朋友書店。
- 木村英樹 2012.「“的”構文の意味と構造—事物限定から動作限定へ—」,『中国語文法の意味とかたち—「虚」の意味の形態化と構造化に関する研究—』。東京：白帝社。
- 杉村博文 1983.「“的”前移せよ」,『伊地智善継・辻本春彦両教授退官記念 中国語学・文学論集』。東京：東方書店。
- 杉村博文 1994.『中国語文法教室』。東京：大修館書店。
- 楊凱榮 2015.「汉语事件句の焦点化動因」,『日本中国語学会第65回全国大会予稿集』。東京：好文出版。
- 陳平 1988.「论现代汉语时间系统的三元结构」,『中国语文（第6期）』。
- 龔千炎 1995.『汉语の時相時制時態』。北京：商务印书馆。
- 杉村博文 1999.「“的”字结构、承指与分类」,『汉语现状与历史的研究』,江蓝生・侯精一主编。中国社会科学出版社。
- 史有为 1992a.「说“哪儿上的”及其“的”」,『呼唤柔性』。海口：海南出版社。
- 史有为 1992b.「续《说“哪儿上的”及其“的”》」,『呼唤柔性』。海口：海南出版社。
- 史有为 1999.「“的”字三辨」,『现代中国语研究论集』。中国書店。
- 宋玉柱 1981.「关于时间助词“的”和“来着”」,『中国语文（第4期）』。
- 楊凱榮 2016.「句中成分的焦点化動因及优先度等级—从事件句到说明句」,『中国語学（263号）』。日本中国語学会。
- 袁毓林 2003.「从焦点理论看句尾“的”的句法语义功能」,『中国语文（第1期）』。

- 袁毓林 2012. 『汉语句子的焦点结构和语义解释』。北京：商务印书馆。
- 张和友 2012. 『“是” 字结构的句法语义研究』。北京：北京大学出版社。
- 朱德熙 1961. 「说 “的”」, 『中国语文 (第 12 期)』。
- 朱德熙 1978. 「“的” 字结构和判断句」, 『中国语文 (第 1 期, 第 2 期)』。
- Chao, Yuenren. 2011 (1968). *A Grammar of Spoken Chinese*. 315-316. 北京：商务印书馆。

用例出典

[小説]

- 安妮宝贝 2013. 『安妮宝贝作品 2000-2013』。北京：北京十月文艺出版社。
- 独木舟 2014. 『一粒红尘』。北京：中国文联出版社。
- 海岩 2005. 『平淡生活』。北京：作家出版社。
- 海岩 2013. 『玉观音』。合肥：安徽文艺出版社。
- 胡适 2009. 『自由人生』。西安：陕西师范大学出版社。
- 林静宜 2005. 『逆时钟』。南寧：接力出版社。
- 落落 2011. 『千秋』。武漢：长江文艺出版社。
- 落落 2011. 『剩者为王』。武漢：长江文艺出版社。
- 茅盾 1960. 『子夜 (第三版)』。北京：人民文学出版社。
- 王朔 2004. 『看上去很美 (王朔文集)』。昆明：云南人民出版社。
- 王旭烽 2002. 『曲院风荷』。北京：新世界出版社。
- 余秋雨 2015. 『空岛』。北京：作家出版社。
- 张爱玲 2012. 『张爱玲全集』。北京：北京十月文艺出版社。
- 张洁 2002. 『无字 (第一部)』。北京：北京十月文艺出版社。

[テレビドラマ]

- 陈启峻 2014. 『把爱带回家 (TV 版)』。北京博方文化传媒有限公司。
- 澄丰、朱锐斌 2013. 『约会专家』。上海剧芯文化创意有限公司。
- 成浩 2006. 『范府大院 (全 41 話版)』。中视影视制作有限公司。
- 付宁 2012. 『全家福』。浙江华策影视股份有限公司。
- 蒋家骏 2012. 『我的经济适用男』。天视卫星传媒股份有限公司。
- 林丛 2004. 『家有儿女 (第一部)』。北京中视美星国际文化传媒有限公司。
- 林丛 2006. 『家有儿女 (第二部)』。北京箐蕊文化传播有限公司。

林丛 2007.『家有儿女（第三部）』。天地人传媒有限公司。

林合隆 2015.『锦绣缘华丽冒险（湖南卫视 TV 版）』。上海泓霆影业有限公司。

刘雪松 2014.『爱的多米诺』。大唐辉煌传媒股份有限公司。

孙皓、张晓波 2013.『30 岁，你好』。北京天空星际文化传播有限公司。

田有良 2011.『当婆婆遇上妈』。北京东方在扬文化传播有限公司、华视影视投资（北京）有限公司。

汪俊 2013.『我爱男闺蜜』。御嘉影视集团有限公司、东阳新境界影视传媒有限公司、上海野鬃文化传播有限公司。

王小康 2013.『老公的春天』。国龙联盟投资股份有限公司。

武洪武、王飞、栗心博 2014.『大都市小爱情』。上海青竺影视文化有限公司。

乌兰塔娜 2014.『冬暖花会开』。东阳视灿影视。

许瑞生 2006.『小房东』。北京佳桐世纪影视文化传播公司。

曾丽珍、王丽文 2014.『恋恋不忘』。浙江唐德影视股份有限公司、中国电影股份有限公司。

张开宙 2016.『如果蜗牛有爱情』。企鹅影业、东阳正午阳光影视有限公司。

张绍林 1997.『水浒传』。中国国际电视总公司。

张晓波 2015.『我爱男保姆』。东阳艺树影音制作有限公司。

张永新 2016.『安居』。山东影视传媒集团、包头市文化演艺有限责任公司。

郑晓龙 2014.『红高粱』。山东卫视、青岛凤凰影视传媒股份有限公司、花儿影视。